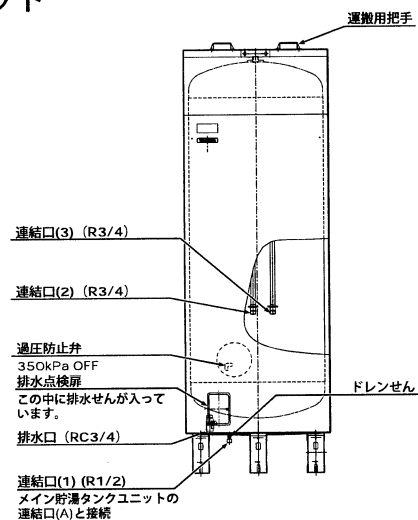
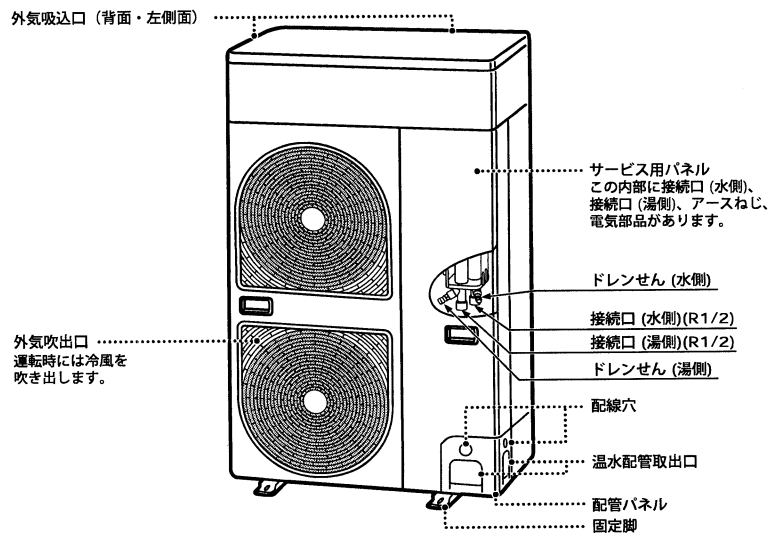


各部のなまえとはたらき (つづき)

サブ貯湯タンクユニット HWS-S561T



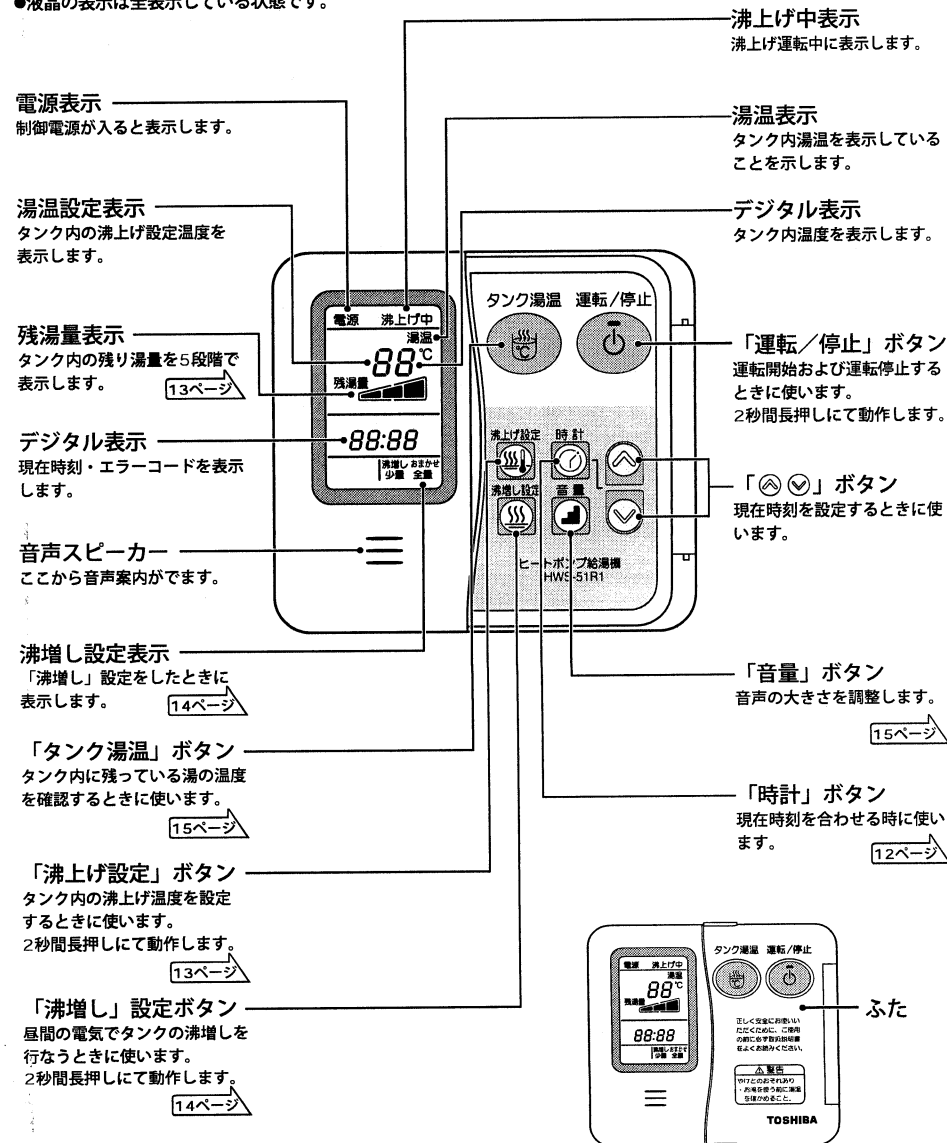
ヒートポンプユニット HWS-1401H1



リモコン HWS-51R1 (BIG用)

ほっとパワーエコBIG

- イラストはふたが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。

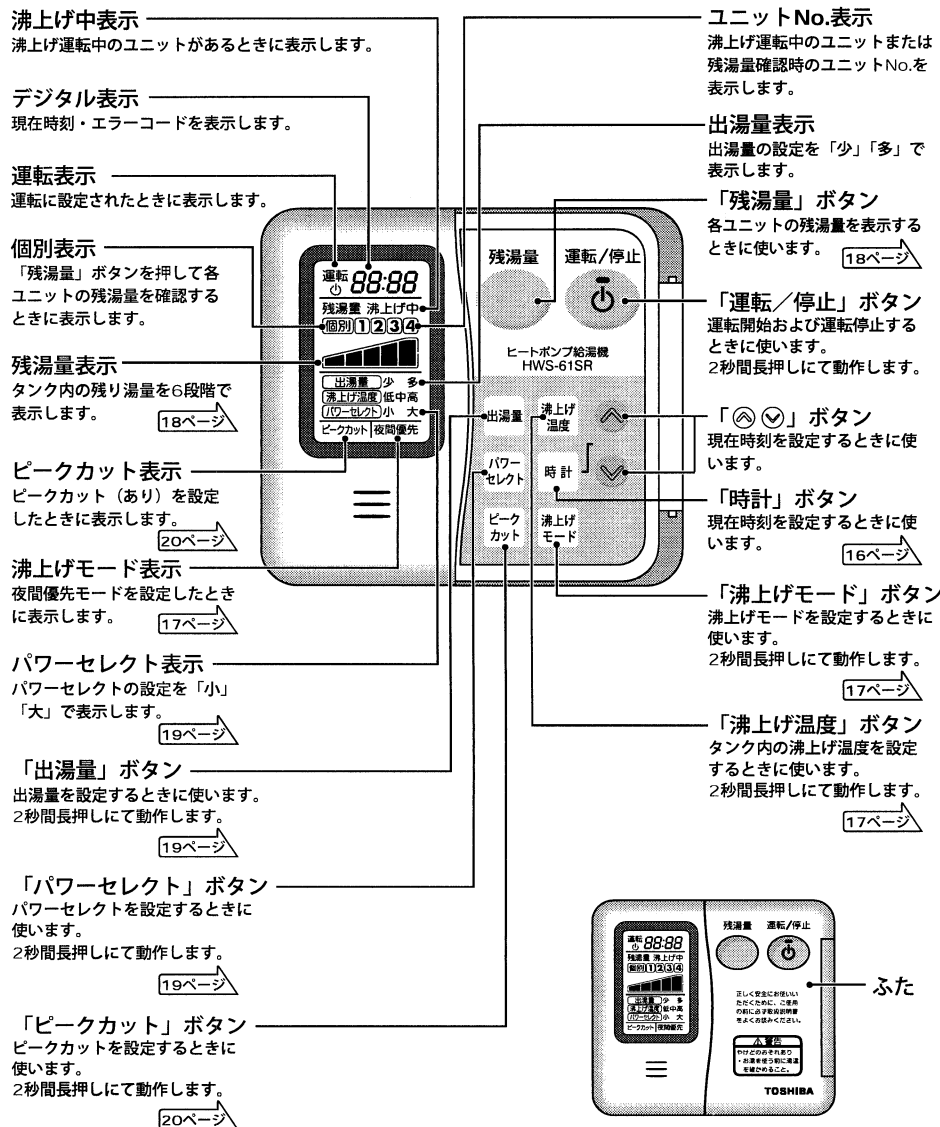


各部のなまえとはたらき (つづき)

システムリモコン HWS-61SR (スーパーBIG用)



- イラストはふたが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。



使いかた

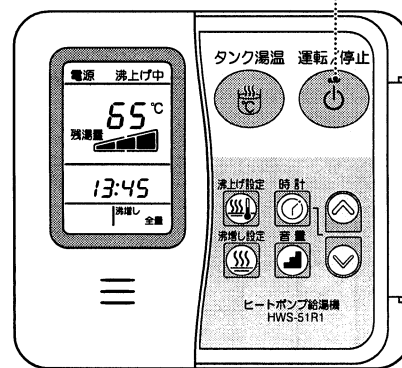
運転のしかた



機器への通電は、必ずタンクを満水にしてから行ってください。

- 電源の入れかた**
機器への供給電源のブレーカ (又は漏電遮断器) を「入」にします。
- リモコンの設定**
 - ①現在時刻の設定を行ないます。
 - ・リモコンが HWS-51R1 (BIG用) の場合 12ページ
 - ・リモコンが HWS-61SR (スーパーBIG用) の場合 16ページ
 - ②沸上げ温度や沸増し設定を行ないます。 13~20ページ
- リモコンの「運転/停止」ボタンを2秒以上押す**
「運転/停止」ボタン部に赤色のランプが点灯します。
タンク残湯量が設定に対して少ない場合に、沸上げ運転を開始します。

HWS-51R1 (BIG用)



HWS-61SR (スーパーBIG用)



お願い

●この商品は、夜間にも沸上げ運転を行ないますので、停止しないでください。停止すると、翌日お湯不足となります。

使いかた (つづき)

お使いのシステムによってリモコン (システムリモコン) が異なりますので、12ページ (現在時刻の合わせかた) から20ページ (ピークカット設定のしかた) は、次のようにお読みください。

- ◆リモコンが HWS-51R1 (BIG用) の場合 → 12~15ページをお読みの後、21ページへ移動
- ◆リモコンが HWS-61SR (スーパーBIG用) の場合 → 12~15ページを読み飛ばして、16ページへ移動

現在時刻の合わせかた

ほっとパワーエコBIG

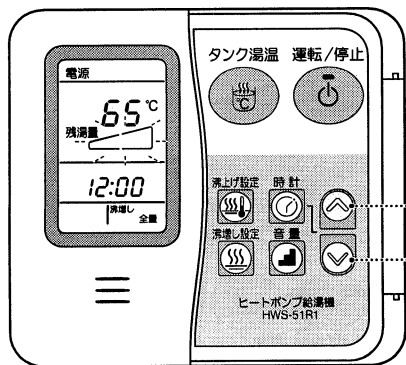
- 必ず現在時刻の設定をしてください。
- 誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
- 時刻は24時間表示です。

次の手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) 13時45分に合わせることで説明します。

設定手順

1. 漏電遮断器のレバーを「入」にします (左図のように表示されます)
2. 『時計』ボタンを押します
12が点滅します。
3. 『 』ボタンを押して、13時に合わせます
『』ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。
『』ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。
4. 『時計』ボタンを押します
デジタル表示部の00が点滅します。
5. 『 』ボタンを押して45分に合わせます
『』ボタンを押すと1分間ずつ数字が進みます。
『』ボタンを押すと1分間ずつ数字が戻ります。
6. 『時計』ボタンを押します
ボタンを押すと時刻が決定します。
7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます



お願い

- 2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設定を行なってください。
- ときどき現在時刻表示を確かめてください。時刻のズレがあると電気料金が割高になることがあります。

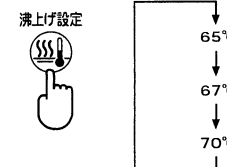
沸上げ設定のしかた

ほっとパワーエコBIG

- 沸上げ温度は3段階から選べます。
- 運転条件によっては設定温度より低い温度で沸上がる場合があります。
- 出荷時は「65℃」の設定になっています。
- 沸上げ温度はヒートポンプユニットから出る湯温を示します。貯湯タンクユニット内に貯湯されると湯温は下がります。

設定手順

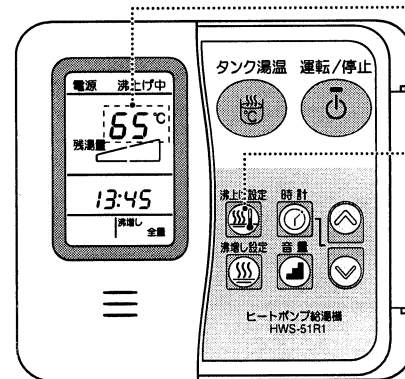
1. 『沸上げ設定』ボタンを押します
ボタンを2秒間押すことで表示が切り替わります。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

メモ

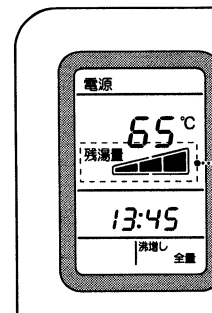
●タンク沸上げを開始すると『沸上げ中』が表示されます。



残湯量の見かた

ほっとパワーエコBIG

- タンク内にお湯があると表示します。表示に対応する残湯量は下記の表の通りです。



表示	残湯量
	75%以上
	65%以上
	30%以上
	5%以上
	5%未満

[音声 (ブザー音) でお知らせ]

※残湯量を示す最低湯温は45℃です。

- お湯が少なくなると音声でお知らせします。残湯量がタンク容量の約30%未満になると音声で「お湯が少なくなりました」とお知らせします。さらに残湯量が少なくなるとブザー音「ピー・ピー・ピー」を鳴らし続け、湯切れ警報「H:O」が表示されます。27ページのブザー音の停止方法によりブザー音を止め、お湯のご使用を控えてください。沸上げ運転により、タンク内にお湯が少し貯まると湯切れ警報「H:O」の表示は消えます。

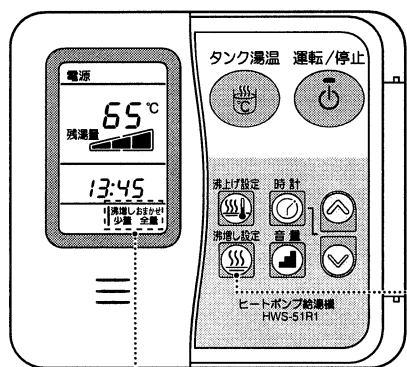
使いかた (つづき)

沸増し設定のしかた

ほっとパワーエコBIG

- 「沸増し設定」は給湯によって減少したタンク内のお湯を自動的に沸す機能です。
- お湯の使用量に応じて、タンクのお湯の『沸増し設定』が3段階で選べます。
- 「沸増し設定」をすると、タンクの容量以上のお湯をご使用できます。
- 現在時刻が設定されていないと『沸増し設定』はできません。

設定手順



1. 『沸増し設定』ボタンを押します
ボタンを2秒間押すごとに表示が切り替り、沸増しのパターンを変えます。
→ 全量 → 少量 → おまかせ → 消灯
- 沸増しの目安
消灯……昼間の沸増しを行いません。
少量……少量のお湯をご使用の場合。
全量……多量のお湯をご使用の場合。
(工場出荷時・リセット時にはこの設定です)
おまかせ……毎日湯切れの心配をしないで経済的にたっぷりのお湯をご使用の場合。
(設定すると解除するまで継続します)
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

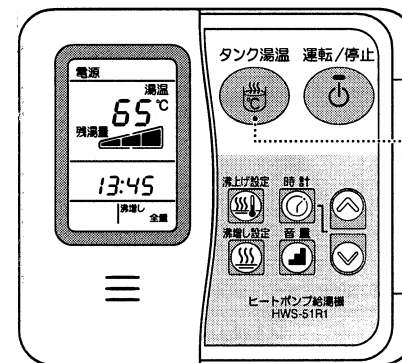
項目	少量のお湯をご使用の場合	多量のお湯をご使用の場合	夜間にお湯を貯め、昼間に湯切れの心配をしないでお湯を使いたいとき	
沸増し設定	少量	全量	おまかせ	
沸増しのしかた				
沸増しの条件	残湯量が約30%未満になると残湯量が約70%まで沸増しを行います。	残湯量が約70%未満になると全量沸増しを行います。	夜10時から朝8時までは少量のお湯が使われたら沸増しをはじめ、朝8時までにはタンクをお湯で満タンにします。	朝8時から夜10時までは常に残湯量が30%以上になるように沸増しを行います。
解除の方法	「沸増し」ボタンを押して沸増しの表示を消灯させる			
備考	沸増しを解除しないかぎり、継続して沸増しを行なう			

タンク湯温の見かた

ほっとパワーエコBIG

- タンク内に残っているお湯の温度を確認できます。ただし、給湯せんから出てくる温度とは異なります。
- 表示した後は、約15秒後に自動的に沸上げ設定温度に戻ります。
- 条件によっては表示湯温が低くなる場合があります。

手順



1. 『タンク湯温』ボタンを押します
ボタンを押すと約15秒間タンク内の温度が表示されます。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

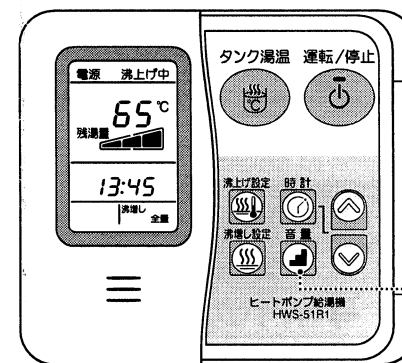
メモ
●タンク湯温は目安です。

音量の調節のしかた

ほっとパワーエコBIG

- 音声案内の音量を調節したいときに使用します。
- 音量の調節は、音声案内中以外であればいつでも行なえます。

設定手順



1. 『音量』ボタンを押します
ボタンを押すごとに声の大きさを音声でご案内します。
 2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます
- 「音声」は標準です。
↓
「音声」は最大です。
↓
「音声」は最小です。
- (音量調節を知らせる音声は変わりません。)

使いかた (つづき)

お使いのシステムのリモコンが HWS-51R1 (BIG用) の場合は、16~20ページを読み飛ばしてください。

21ページ

現在時刻の合わせかた

スーパー
ほっとパワーエコBIG

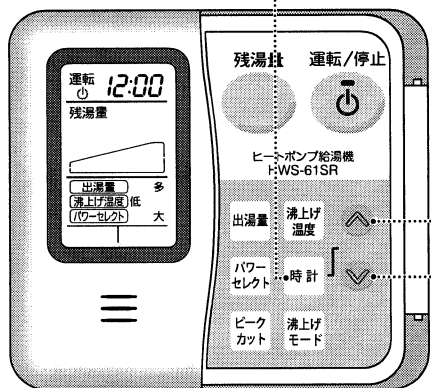
- 必ず現在時刻の設定をしてください。
- 誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
- 時刻は24時間表示です。

次の手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) 13時45分に合わせることで説明します。

設定手順

1. 漏電遮断器のレバーを「入」にします
(左図のように表示されます)
2. 『時計』ボタンを押します
12が点滅します。
3. 『⊕⊖』ボタンを押して、13時に合わせます
『⊕』ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。
『⊖』ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。



4. 『時計』ボタンを押します
デジタル表示部の00が点滅します。
5. 『⊕⊖』ボタンを押して45分に合わせます
『⊕』ボタンを押すと1分間ずつ数字が進みます。
『⊖』ボタンを押すと1分間ずつ数字が戻ります。

6. 『時計』ボタンを押します
ボタンを押すと時刻が決定します。
7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

お願い

- 2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設定を行なってください。
- ときどき現在時刻表示を確かめてください。時刻のズレがあると電気料金が割高になることがあります。

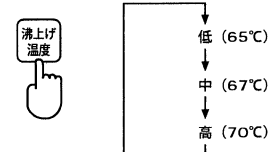
沸上げ温度設定のしかた

スーパー
ほっとパワーエコBIG

- 沸上げ温度は3段階から選べます。
- 運転条件によっては設定温度より低い温度で沸上がる場合があります。
- 出荷時は「低 (65℃)」の設定になっています。
- 沸上げ温度はヒートポンプユニットから出る湯温を示します。貯湯タンクユニット内に貯湯されると湯温は下がります。

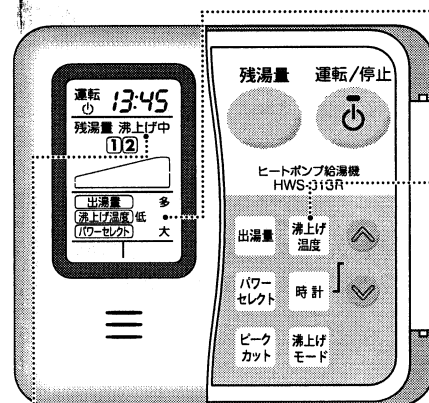
設定手順

1. 『沸上げ温度』ボタンを押します
ボタンを長押し (2秒) するごとに表示が切り替ります。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

メ タンク沸上げを開始すると『沸上げ中』が表示されます。



- 沸上げ運転中のユニットがある場合、「沸上げ中」表示と沸上げ中のユニットNo. が表示されます。上の例では、ユニットNo. 1, 2 が沸上げ運転を行なっていることを表示しています。

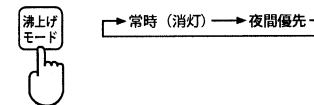
沸上げモード設定のしかた

スーパー
ほっとパワーエコBIG

- 沸上げモードは2モードから選べます。
- 出荷時は「常時 (消灯)」の設定になっています。

設定手順

1. 『沸上げモード』ボタンを押します
ボタンを長押し (2秒) するごとに表示が切り替ります。



- ◆常時……時間帯に関係なく、全体貯湯量が70%未満になると沸上げ運転を開始します。
- ◆夜間優先……昼間は原則として沸上げ運転しません。但し、全体残湯量が30%未満になると40%になるまで沸上げ運転を行ないます。夜間22:00~翌7:00は、全体残湯量が70%未満になると沸上げ運転を行ないません。

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

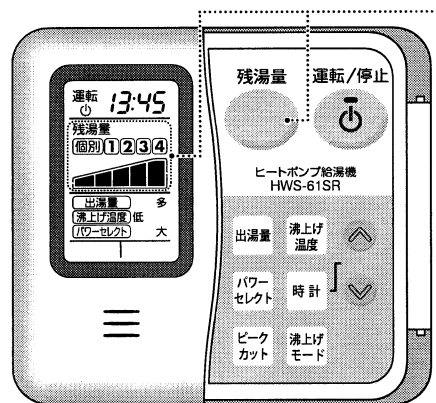


使いかた (つづき)

残湯量の見かた



●各ユニットの残湯量またはシステム全体の残湯量を表示します。表示に対応する残湯量は下記の表の通りです。



各ユニットの残湯量の見かた

1. 『残湯量』 ボタンを押します
「個別」が表示され、据え付けてあるユニットNo. と残湯量の表示が3秒ごとに切り替ります。

残湯量

〈表示と残湯量〉

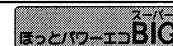
ユニット残湯量	システム残湯量
95%以上	90%以上
80%以上	70%以上
60%以上	50%以上
30%以上	30%以上
5%以上	10%以上
5%未満	10%未満

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

システム全体の残湯量は常時表示されます。

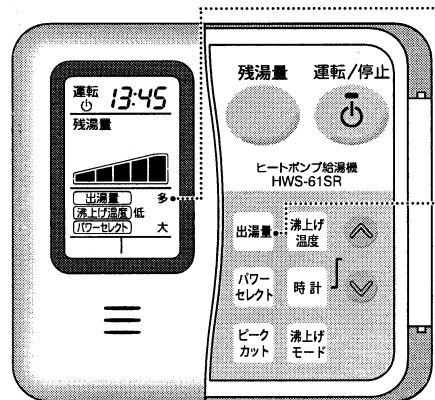
●お湯が少なくなるとブザー音と湯切れ警報“H：O”を表示してお知らせします。システム残湯量が10%未満になるとブザー音が「ピー、ピー、…」と鳴り続け、湯切れ警報“H：O”がユニットNo. とともに表示されます。27ページのブザー音の停止方法によりブザー音を止め、お湯の使用を控えてください。沸上げ運転により、タンク内にお湯が少し貯まりますと湯切れ警報“H：O”の表示は消えます。

出湯量設定のしかた



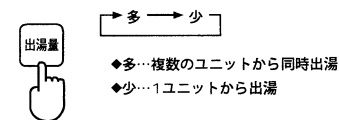
一時的に出湯量を減らし、タンクにお湯を確実に貯めたいときに設定します。

- 出湯量は2段階から選べます。
- 出荷時は「多」の設定になっています。



設定手順

1. 『出湯量』 ボタンを押します
ボタンを長押し (2秒) することで表示が切り替ります。

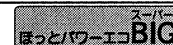


〈ユニット数と「多」「少」設定時の同時出湯台数〉

ユニット数	多	少
4	4	1
3	3	1
2	2	1

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

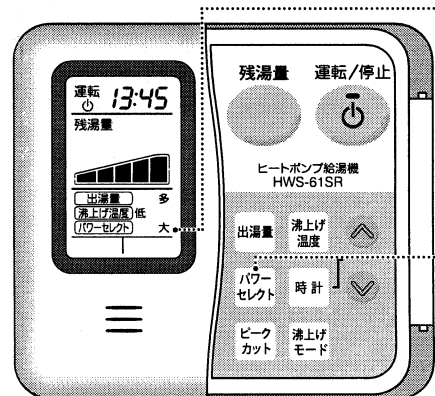
パワーセレクト設定のしかた



夏季シーズン等、使用電力量を抑えたいときに設定します。

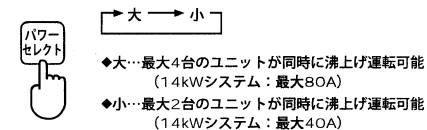
但し、湯切れしやすくなりますのでご注意ください。

- パワーセレクトは2モードから選べます。
- 出荷時は「大」の設定になっています。



設定手順

1. 『パワーセレクト』 ボタンを押します
ボタンを長押し (2秒) することで表示が切り替ります。



〈ユニット数と「大」「小」設定時の同時運転台数〉

ユニット数	大	小
4	4	2
3	3	1
2	2	1

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

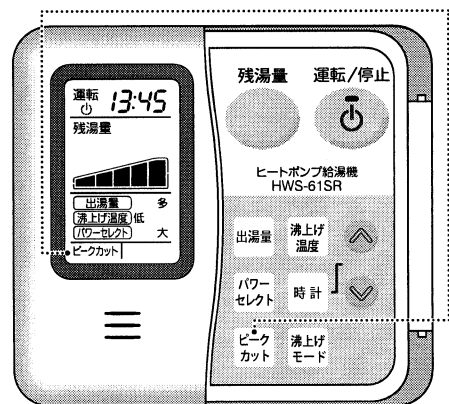
使いかた (つづき)

ピークカット設定のしかた



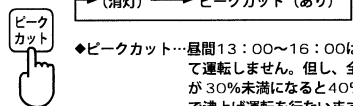
季節別時間帯別電気料金を採用している場合の夏季シーズン等、使用電力量を抑えたい時に設定します。

- ピークカットは2モードから選べます。
- 出荷時は「(消灯)」の設定になっています。



設定手順

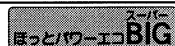
1. 『ピークカット』ボタンを押します
ボタンを長押し(2秒)すると表示が切り替ります。



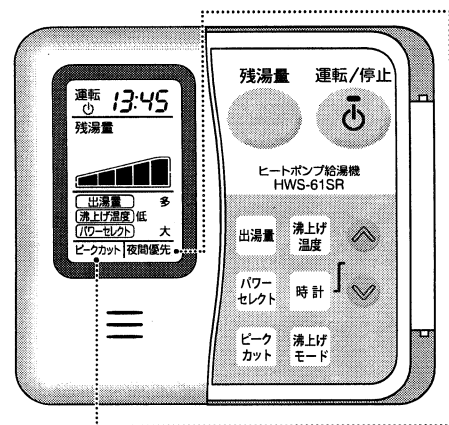
●ピークカット…昼間13:00~16:00は原則として運転しません。但し、全体残湯量が30%未満になると40%になるまで沸上げ運転を行います。
(13:00までに満タンになるように運転し、ピークカット中の湯使用にそなえます。)

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

夜間優先+ピークカット運転について



●夜間優先とピークカットを同時に設定しますと、夜間電力を有効に活用しつつ昼間の使用電力を最小限に抑えることができます。



設定手順

1. 『沸上げモード』ボタンを押して、夜間優先を設定します [17ページ](#)

2. 『ピークカット』ボタンを押して、ピークカットを設定します [20ページ](#)

安全点検

事故を防止するために下記の安全点検を必ず行なってください。

警告

- 漏電遮断器の動作を確認する
漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。
- 逃し弁点検時は、排水管に手を触れないやけどをすることがあります。

動作点検
手をふれない

注意

- 逃し弁を点検する
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
- 凍結防止対策を確認する
配管が破損してやけどをすることがあります。
- 水漏れを点検
配管接続部、水抜せん、専用止水せんから水が漏れていないか日常確認してください。

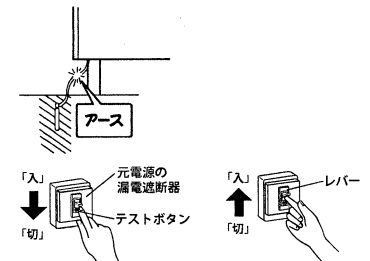
動作点検
施工確認
点検

安全点検

1. 元電源の漏電遮断器の動作確認

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
●年に2~3回は、漏電遮断器の動作確認を次のように行ってください。

- (1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。
- (2)テストボタンを押してください。
漏電遮断器のレバーが「切」(OFF)になれば、正常です。
- (3)テストのあとは、必ずレバーを「入」(ON)にもどしてください。



2. 逃し弁の動作確認

年に2~3回は、逃し弁ワイヤーを2~3回引いて動作をチェックしてください。

- ワイヤーを引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。(排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください)
- HWS-M561T1の場合は逃し弁点検扉を開いて、逃し弁のレバーを手前側に引いてください。



●逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し弁より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。

●逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、貯湯タンクユニットを守る安全装置です。
逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

3. 水漏れの点検

- 貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認してください。

凍結防止について

1. ヒートポンプユニット配管の凍結防止

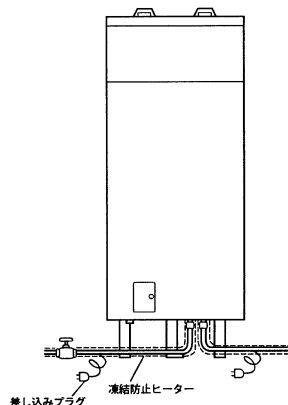
- 外気温が下がると、循環ポンプが運転します。さらに温度が下がるとヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプユニット配管の凍結を防止します。

2. 凍結防止ヒーターによる方法

- 気温が0℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので、据付説明書どおりの配管工事をしてください。
- 水が凍るような時期になりましたら、右図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。暖かくなりましたら、プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- ※電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための運転ができません。



3. 排水・水抜きによる凍結防止

- 外気温が凍結温度まで下がるような時期に数日間お使いにならないときには23ページの「通水後お使いにならないとき」に従って排水・水抜きを行なってください。

通水後お使いにならないとき

- 通水確認後や使用開始後、一ヶ月以上お使いにならないときには、下記の方法にしたがって対応してください。

注意

- 1ヶ月以上使用しないときは元電源の漏電遮断器を「切」にして貯湯タンクユニットの排水をする
排水
水質が変化することがあります。



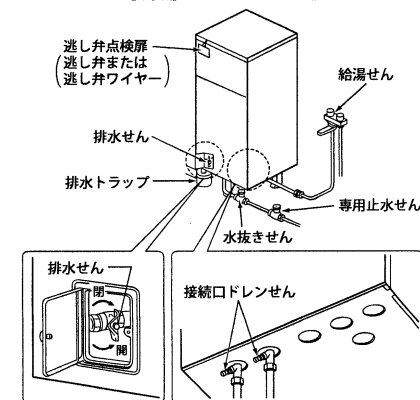
対応方法

- お使いにならないときには、次の手順で各部の排水および水抜きを行なってください。タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
- 各部の排水および水抜きを行なってください。

排水・水抜き方法

- ①元電源の漏電遮断器のレバーを「切」にします。
- ②専用止水せんを閉じます。
- ③給湯せん、給水側の水抜きせん、貯湯タンクユニット内の排水せんを開きます。
- ④約40分～50分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁点検扉を開いて逃し弁を手前に引く、または逃し弁ワイヤーを引いて逃し弁を開けてください)
- ⑤貯湯タンクユニットの接続口ドレンせんを開きます。
- ⑥各部の水抜きが終了したら給湯せん、貯湯タンクユニット内の排水せん・給水側の水抜きせん・接続口ドレンせんを閉じます。
※専用止水せんは閉じたままとしてください。
- ⑦各部の水抜きが完了したら、漏電遮断器のレバーを「切」のまま、次にご使用になるまで通電しないでください。

【貯湯タンクユニット】



再び使用するとき

- ①排水せんを閉じます。
- ②専用止水せんおよび給湯せんを開きます。
- ③給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。